

# 史上初<sup>※1</sup>。肌へのトクホ<sup>※2</sup>が誕生 「オルビス ディフェンセラ」承認・発売を記念し 開発を担ったポーラ化成工業 研究所にて植樹式

※1 販売商品として ※2 特定保健用食品

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：釘丸和也）は、肌への機能が認められたトクホ「ORBIS DIFENCERA（オルビス ディフェンセラ）」（以下ディフェンセラ）の承認・発売を記念して、2018年12月11日に横浜市戸塚区の同社横浜研究所内にて植樹式を執り行いました。

ディフェンセラは、2019年1月1日にオルビス株式会社より一般発売を開始します。



ポーラ・オルビスグループ役員及び開発者代表が参加



中央左：ポーラ化成工業㈱ 取締役執行役員 研究・企画担当  
フロンティアリサーチセンター所長 末延則子  
中央右：オルビス㈱ 代表取締役社長 小林琢磨

## ポーラ化成工業社長挨拶(抜粋)

「ポーラ・オルビスグループが、健康食品の分野でも新たな歴史を切り拓くこととなりました。ほかの桜に先駆け早春に咲く『河津桜』に、これからも新しい価値をいち早く提供する存在でありたいとの願いをこめました。ディフェンセラが、肌が乾燥しやすい早春に、多くのお客様に喜びをお届けできますよう祈念いたします。」

## 確実な機能と品質を追求

ポーラ化成工業では、確実なスキンケア効果を発揮する肌分野でのトクホの実現を目指し、10年の歳月をかけて研究開発に成功しました（申請までに6年、審査に4年）。まず乾燥肌に有効な成分を探索し、米胚芽から取れるグルコシルセラミドに着目、さらに不純物を取り除き純度を高めた成分<sup>※3</sup>を開発しました。これを基に、長期間品質を保ちつつ美味しく飲みやすい処方を開発し、肌に対する有効性の確認、作用機序の解明、製造法や品質管理方法の確立など、トクホの申請に必要な項目を一つ一つ丁寧に検討しました。これらのデータをもって国に申請を行い、肌の乾燥が気になる人に適するトクホとして2017年12月12日に表示許可を受けました。

ポーラ化成工業株式会社は、シワ改善効果が認められた初めての薬用化粧品リンクルショット メディカル セラム<sup>※4</sup>を開発するなど、革新的な研究力と製品開発を強みとしています。

※3 DF-セラミド ※4 2017年1月1日株式会社ポーラより発売

## 【補足資料】

オルビス ディフェンセラについて

商品名	『ORBIS DEFENCERA』 (オルビス ディフェンセラ)
お召し上がり方	そのまま口に入れるか、 水とともにお召し上がりください。
摂取目安量	1日1包
容量	45g(1.5g×30包)、30日分
価格	3,200円(税込3,456円)
発売日	2019年1月1日
販売ルート	通信販売、全国のオルビスショップ



- ・ 許可表示 :本品に含まれる米胚芽由来のグルコシルセラミドは、肌の水分を逃がしにくくするため、肌の乾燥が気になる方に適しています。
- ・ 関与成分 :米胚芽由来グルコシルセラミド
- ・ 本品は皮膚疾患の治療薬ではありません。

## 【備考】

ポーラ・オルビスグループの研究体制について

Frontier Research Center (FRC:フロンティアリサーチセンター)

(ポーラ化成工業株式会社)

グループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社のFRCは、株式会社ポーラ・オルビスホールディングス Multiple Intelligence Research Center (MIRC:マルチプルインテリジェンスリサーチセンター)<sup>※5</sup> が決定した研究戦略に基づいて、新価値創出を目的とした研究を実行し、新規・既存事業へ活用するシーズを創出する役割を担います。新規有効成分の開発を担うだけでなく、イノベーター的な研究を行っています。

※5

Multiple Intelligence Research Center (MIRC:マルチプルインテリジェンスリサーチセンター)

(株式会社ポーラ・オルビスホールディングス)

化粧品の既存の枠を超えた新価値創出を狙い、グループ視点での研究戦略および知財戦略を策定し、研究成果のグループ最適配分の役割を担います。また、マーケットリサーチとイノベーション案件の探索に特化した専任スタッフを配置し、全世界から次世代のニーズを収集、最先端技術との連携や投資案件の探索を行います。

**mirc ? frc !**  
POLA ORBIS GROUP